

水質基準ガイド

井戸水の衛生管理

- (1) 家庭用の井戸は、浅い井戸が多いため、井戸周辺の環境や地表の影響を受けやすく水質は不安定です。年に1回は水質検査を受けましょう。
- (2) 井戸の周りは清潔に保ち、人畜のし尿や農薬散布等により地下水が汚染されないようにしましょう。また、ポンプ等の設備は定期的に点検しましょう。
- (3) なるべく生水は飲まずに、煮沸したり、塩素消毒してから飲みましょう。飲み水は、安全な水道水を利用されることをおすすめします。
- (4) 日頃から井戸水の濁り、臭い、味及び色の確認を行いましょう。異常を感じたら使用を中止し、富山市保健所生活衛生課へご相談ください。

周囲の環境から汚染されていないか、次の項目について検査しましょう

一般細菌

1ml 中の集落数が100個以下

平常よりも著しく増加した場合は、汚水や異物の混入などによる汚染の可能性が考えられます。

水道水：汚水・異物などの混入、貯水タンクの清掃不足、容量過大による残留塩素消失など

井戸水：汚水・異物などの混入、消毒設備の故障・清掃不足、降雨などによる変動など

大腸菌

検出されない

検出された場合は、人畜の排泄物による汚染の可能性が考えられます。

○地下式受水槽の壁面老朽化により、隣接する汚水槽水の混入

○受水槽のフタ・防虫網の破損部位からの昆虫などの侵入

○井戸水に周囲の汚水・排水・廃棄物などの混入

○井戸水の消毒設備の故障

硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素

10mg/ℓ以下

増加した場合は、窒素肥料、腐敗した動植物、し尿、生活排水などに含まれる窒素化合物が混入した可能性が考えられます。

鉄及び その化合物

0.3mg/ℓ以下

飲料水中の鉄は、岩石・土壌から溶出したものが主ですが、水道管の鉄管などから溶出することもあります。高濃度になると赤水、金気臭を呈し、洗濯物や食器を着色する原因となります。

塩化物イオン

200mg/ℓ以下

自然水中に多少含まれているもので、多くは地質に由来しています。また、排水、し尿、海水などの混入によって増加するので、これらによる汚染の可能性が考えられます。

カルシウム、マグネシウム 等（硬度）

300mg/ℓ以下

硬度が高いと石鹸の泡立ちが悪くなり、低すぎると、淡白でコクのない味がします。工場排水、生活排水、海水などの混入により増加する可能性があります。

有機物 (全有機炭素(TOC)の量)

3mg/ℓ以下

水中の有機物濃度を推定する指標となるもので、増加した場合は、下水、し尿、生活排水の混入の可能性があります。

pH値

5.8 以上
8.6 以下

7が中性で数字が小さくなれば酸性、大きくなればアルカリ性です。降雨、地層・土壌によって影響します。年間ほとんど変わりませんが、大きく変わったときは、汚水などの混入の可能性が考えられます。

味・臭気

異常でないこと

藻類の発生、配管のサビ、生活排水、土砂や化学物質などの混入によって水質に何らかの異常が発生したことを知らせる指標となります。また、水質、水温、飲む人の生理状態などで変化を感じることもあります。

色度・濁度

色度：5度以下
濁度：2度以下

金属などを多く含む場合、色がつくことがあります。また、土砂、排水、化学物質、多量の空気などの混入によって濁りが生じる可能性があります。

井戸水についてのご相談は、富山市保健所 生活衛生課まで

富山市蜷川459-1 TEL 076-428-1154